

AXISS

アクシス株式会社 | AXISS corporation
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-34-27 | 2-34-27Jingumae, Shibuya-ku, Tokyo 150-0001 Japan
Tel 03-5410-0071 Fax 03-5410-0622 | Telephone 03-5410-0071 Fax 03-5410-0622

各位

2016年4月吉日
アクシス株式会社

新ブランド/新製品のご案内

ayon
audio

拝啓 皆様ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜わりまことにありがとうございます。

さて、弊社ではこのほど、オーストリアのハイエンドオーディオ機器メーカーAyon Audio 社製品の取り扱いを開始させていただく運びとなりました。

Ayon Audio 社は、本格的に活動を始める7年前の1993年から、今日に至るまで、ひたすら三極真空管アンプの設計製造に主力を注ぎながら、自らAA62Bを始めとする真空管製造にも携わるほか、デジタル関連機器やスピーカーをも生産し、世界で高い評価を得ているユニークなメーカーです。ブランド名は、“Ayon(アイオン)”と称します。

そのAyonの数あるラインナップから、弊社ではまず、Ayonブランドの基軸とも言える真空管アンプ群の内、特にコストパフォーマンスに優れた2機種を手始めに、近々輸入発売を開始させていただくこととなりました。

つきましては、以下にその取り扱い製品リストを、次ページ以降にAyon Audio社の略歴を、そして、別紙にて各製品の概要をご案内いたしますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具

- 記 -

Ayon 取扱製品

モデル	/	カテゴリ	/	価格(税別)
Scorpio		真空管インテグレートドアンプ(KT88)		¥390,000
Spirit III		真空管インテグレートドアンプ(KT150)		¥690,000

2016年5月発売予定

ayon audio

TIMELESS DESIGN – MAGIC SOUND

*"Simplicity is the best way to get out the maximum sound performance,
but also the most difficult way".*



[ヒストリー]

Ayon(アイオン)は、Ayon Audio 社として正式にスタートした 2000 年からさらに 7 年を遡った 1993 年、スロバキアとの連邦を解消し新体制となったチェコ共和国の首都プラハでの一人の男との出会いから始まりました。

1993 その人物は Alesa Vaic 氏。1990 年代、特に三極真空管に関する設計製造の第一人者として名を馳せた天才的エンジニアです。自分の工場で製造していた AVVT300B の部材調達のために、エンジニアとして数年働いていたプラハの Tesla という旧真空管製造工場に赴いていた彼に、私は偶然にもそこで初めて出会いました。互いに三極真空管への情熱を語るうち、彼は私を自分の工場に招待すると言い出したのです。そしてその研究室で彼が見せてくれたのは、開発中の、300B をベースとした全く新しい HiFi オーディオ用三極真空管でした。その優れた特質とこれまでにないハイパワー能力は、ハイエンドオーディオに新たなジェネレーションを生み出すに違いないという鮮烈なインスピレーションを私に与えました。そして即座に、彼と私は協力体制を組むこととなったのです。

1994 "VAIC"ブランドでの最初の真空管アンプ"VAIC 52B"モノブロック・シングルエンデッド(SE)三極管パワーアンプをイタリアで製造開始。使用した三極管はプラハの Alesa Vaic 工場生産品。アンプ設計は当社が行ない真空管設計は同氏が全面的に担いました。ブランドとモデル名の"VAIC"はもちろん氏の名前に由来しています。

1996 この"VAIC 52B"が "TAS-Absolute Sound"誌 Harry Pearson 氏のレビューで五つ星を獲得。

1998 残念ながら Alesa Vaic 氏は真空管製造を辞めこのビジネスから撤退してしまいます。

1999 この事態を受け、我々は、"VAIC"を Ayon Audio に併合。同年、Alesa Vaic 氏から真空管製造に関わる材料や工場設備などの一部を引き受け、そこにさまざまな手を加え、併せて閉鎖となった Tesla 工場の真空管技術部門で働いていたチーフエンジニアを招聘。

2000 Ayon Audio 社を正式に設立。"Ayon"ブランドとしての新たな SE 三極真空管 AA62B の製造をプラハで開始。最高レベルの品質と真空度をもつガラス管、金ワイヤーのフィラメント、特別なジルコニウムコーティングによるアノード・プレートと特殊な溶接工程など、ハイパワーSE 三極管のために非常に重要なファクターにおいて、現在まで 15 年以上にわたって恐らく世界最高の一つであろうと言える Ayon シングルエンドトライオード・パワーチューブの高品質を達成した原点がここにあります。この時から、アンプ製造に於いても、よりハイパワーで高品位な能力を達成する優れたエンジニアリングを求めて、アンプ製造の拠点をイタリアから母国オーストリアに移します。回路とトランスのデザイン、アルミ筐体など、設計すべてに新機軸を打ち出し、新世代 Ayon のアンプ造りがここから始まります。



AA62B triode power tube

2001 Ayon ブランド"Reference 52B"モノブロック・パワーアンプと Lumen White Loudspeaker をこの年のラスベガス CES に出展。世界的に著名なハイエンドオーディオマガジンから"best sound of the Show"を授かる。

2002 初めての SE インテグレートドアンプ"Ayon 300B"を製造。続いて AA32B 管を使った"Sunrise"もリリース。



Sunrise integrated amp

2003 Ayon ブランドのスピーカー"Dragon"を開発。

2004 "Falcon"を始めとするセラミックドライバーのスピーカーをリリース。

2005 Ayon の次世代を担う"state of the Art"を求めて"Spheris"プリアンプが誕生。全く新しく革命的な回路デザインとリ・ジェネレーターによるチューブ・パワーサプライ技術を投入。



Spheris preamp - first generation

2006 インテグレートドアンプのラインナップに、KT88 搭載の"Spilit"と 6C33 搭載の"Spark"が加わる。

また、同年から CD プレーヤーを始めとするデジタルオーディオ部門に進出。最初のモデル"CD-1"と次の"CD-3"は、多くのレビューで称賛され幾多の賞を授かる。

2007 第二世代の CD プレーヤーとして、"CD-2"と"CD-1s" さらに"CD-7"をリリース。デジタル部門では、かつて Philips に属していたエンジニアが興したウィーンの"Stream unlimited"社の技術協力による新たな D/A コンバーターを開発。シャーシーデザインとメカニズムをブラッシュアップし、アナログ出力ステージには双三極管 6H30 を無帰還で組み込むなど、サウンドパフォーマンスにおける特異な優位性を打ち出します。



CD-2 CD-Player

2008 AA62B ベースの SE モノブロックパワーアンプ"Vulcan"と"Spheris"の弟機"Polaris"プリアンプを輩出。

2009 CD再生のリファレンス機となる"CD-5"プレーヤーと"Skylia"D/Aコンバーターを、そしてさらに、AA62B真空管アンプの次世代を切り拓く"Crossfire"インテグレートドアンプを開発。



Crossfire - integrated amp / first generation

2010 新たな"ステートオブジアート"、4 筐体構成の"Spheris II"ラインステージプリアンプ、"Spheris"フォノステージが完成。さらに、初めてのネットワークプレーヤー"S-3"を導入。

この年の暮れ、アンプ技術の次世代を開く新回路"Auto Fixed Bias"システムを開発。理想的なバイアス設定の自動化と同時に、デリケートな真空管へのプロテクション機能とセルフテストプログラムを行なう画期的なシステムです。

2011 "Valcan II" "CD-5s" "Polaris III"が absolute sound 誌 (USA)から editors' choice awards を授かる。



2012 初めての真空管による別電源構成の"S-5"リファレンス・ネットワークプレーヤー、"NW-T"ネットワークトランスポート、"CD-T"CD トランスポートをリリース。

2013 真空管ベースの DSD 対応 D/A コンバーターとして世界初となった"Stalth"と"Stratos"が誕生。

スピーカーラインナップには、"BlackFire", "BlackHawk", "BlackArrow"が加わる。いずれも、小出力アンプでの良質な駆動を可能とする。

また、SE 6H30 搭載の DSD DAC としてベストコストパフォーマンスを追求した"Sigma"、さらに、真空管ベースの DSD DAC 機能をも有する CD プレーヤーの最終進化系、"CD-1sx", "CD-3sx"をリリース。

2014 "Spheris III"と"Polaris III"。いずれも新ボリュウム機構によってアップグレードを果たす。

それらの弟機として、フレキシブルなモジュラー方式による"Auris"リファレンス・プリアンプも導入。

革新の"NW-T"DSD ネイティブネットワークトランスポートを開発。

2016 現在、アンプのラインナップでは、KT88-KT150 ベースとして"Scorpio","Spirit III"など、また、AA62B ベースでは"Spirit PA", "Crossfire III / Crossfire PA"など、多岐に亘る三極管ドライブ展開を行なっています。

「シングルエンデッドト・トライオード」、その信号増幅の最も純粹主義的な、そしてその絶妙な魅力と魔法は、私を虜にし、20 数年来未だ尽きることを知りません。

Gerhard Hirt , owner & designer of Ayon Audio

Ayon Audio
Hart 18,A-8101 Gratkorn,Austria www.ayonaudio.com